

令和5年度
教科名等

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
総合的な探究の時間	2	A B C D E F	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	課題研究ノート 2nd Edition(啓林館)
使用教材等	課題研究ノート 2nd Edition(啓林館)

科目の目標

学習目標	<p>【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。</p>
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	<ul style="list-style-type: none"> 自己の将来について具体的に考え、これからの自分自身の生き方や学びの方向性を見だし、日常生活に生かすことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究分野について広く知る。 広く調べる対象を決める。 リサーチクエスチョンを決める。 仮説を立てる。 検証計画書を作成する。 検証準備・協力依頼をする。 検証を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査活動を、目的や対象に応じた適切さで、正確かつ安定的に実施することができる。 課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積することができる。 自分の意思で課題に向き合い、自他のよさを認めながら、協働的に課題を解決しようとしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生活や周辺の事象における課題を解決することを通して、客観的・科学的な視点で理解するとともに、統計的な分析や観察・実験から得られたデータを基に考え、これからの探究活動を見通したり自分の生活に生かしたりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 中間発表を行う。 2学期の調査研究計画書案を提出する。 検証準備・協力依頼をし、研究計画書の確定をする。 フィールドワーク・実験を行う。 研究の整理・分析・考察を進める。 ポスター制作を開始する。 最終発表会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査活動を、目的や対象に応じた適切さで、正確かつ安定的に実施することができる。 課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積することができる。 自分の意思で課題に向き合い、自他のよさを認めながら、協働的に課題を解決しようとしている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生活や周辺の事象における課題を解決することを通して、客観的・科学的な視点で理解するとともに、統計的な分析や観察・実験から得られたデータを基に考え、これからの探究活動を見通したり自分の生活に生かしたりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己PRシートを作成する。 進路の志望理由書を作成する。 代表者発表会を行う。 自己PRシートを提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。